

- (2) 日本農民組合九州同盟會
組合員四、五九二人を有する社民支持の有力團體なりしが今回社民を脱し新黨支持を聲名す。
- 以上(一、二、三項)に示すが如く本縣に於ては従來の社民支持労働組合には大なる動搖はないが、市民層並に農民層には新黨がかなりの勢力を獲得しつつあること、新黨支持の新しい労働組合組織の傾向あることは注目し得るのである。
- 四、社民、大衆兩黨の合同問題。
- (1) 社民福岡縣聯合會の態度、
本部の合同方針に對し極力地方の特殊事情を主張して合同の絕對不可能を叫んでゐる。
- (2) 大衆黨福岡縣聯合會の態度、

五月二十八日八幡市に縣聯中央委員會を開催して合同反對を決議した。

之を要するに合同問題は當地方に於ける兩黨の競争關係に顧るも且又兩黨勢力の中心地たる北九州、就中八幡に於ける關係を考へても其の合同は全く望みなき現状にある。

以上